



第17回 日本末梢神経学会学術集会 プログラム・抄録

The XVII Annual Meeting of Japanese Peripheral Nerve Society

■会期：平成18年8月18日(金)・19日(土)

■会場：リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78
TEL: 082-502-1121 FAX: 082-228-5415

■会長：越智 光夫

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科展開医科学専攻病態制御医科学講座整形外科学)

第17回日本末梢神経学会学術集会開催にあたって

第17回学術集会会長 越智 光夫

この度、第17回日本末梢神経学会学術集会を広島で開催できますことを大変光栄に存じます。本学会は末梢神経疾患を各分野の専門家が整形外科的、神経内科的、あるいは基礎医学的な立場で一同に話し討議するという特色のある学会のひとつです。

特別講演、モーニングセミナー、産業医学講座、ランチョンセミナーでバラエティーに富んだ話題をご提供いただくことになっています。特別講演では私の恩師でもありますスウェーデンのLundborg先生に「Nerve repair and brain plasticity」をお願いいたしました。手の外科の臨床家でありかつ、豊かなりサーチマインドをあわせ持つ末梢神経領域の第一人者であります。興味深いお話がうかがえるものと楽しみにしております。また、モーニングセミナーで九州大学薬効解析学教授の井上和秀先生に「末梢神経傷害誘発アロディニア発症におけるミクログリアATP受容体の機能」、広島大学薬効解析学教授の仲田義啓先生に「痛みのバイオマーカーとしての神経ペプチド」と2名の先生方に痛みのメカニズムに関してお話しいただきます。産業医学講座では北里大学公衆衛生学教授・北里研究所病院臨床環境医学センターの坂部貞先生に「環境化学因子の自律神経機能に及ぼす影響とその考え方」、ランチョンセミナーではオタゴ大学の額田均先生に「動脈硬化性末梢血管障害とニューロパシー」、広島大学放射線分子疫学研究分野教授の川上秀史先生に「Charcot-Marie-Tooth X病における遺伝子異常と病態」をお話ししていただく予定です。また、シンポジウムは「神経再生」をテーマに、基礎系、内科系、整形外科系、その領域のリーダーの先生方5人の演者に発表して頂くことになっています。

先生方のご支援により、今回は応募演題数が50題を超えることができました。整形外科、神経内科は勿論のこと、リハビリテーション科、脳神経外科など各領域から多くのご応募をいただき感謝しております。多くの方に参加いただき、積極的な意見の交換を期待しております。また、会場のすぐ近くにはひろしま美術館、広島市民球場があり、少し足をのばせば原爆ドーム、平和記念公園、広島城があります。学会の前後に時間がありましたら、ご覧になっていただければ幸いです。

2日間の本学会が、実り多いものとなりますよう、多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

日 程 表

リーガロイヤルホテル広島 4階 クリスタルホール

8月18日(金)

8:00	
12:35	閉会の辞
12:40	一般演題 I. 基礎 1 座長 長吉田三郎
13:25	一般演題 II. 基礎 2 座長 三浦 明男
14:10	一般演題 III. 症例 1 座長 桑山 泰人
14:45	
14:55	一般演題 IV. 症例 2 座長 中川 正法
15:30	一般演題 V. 検査 1 座長 池田 修一
16:06	一般演題 VI. 検査 2 座長 有村 公良
16:51	
17:00	特別講演 「Nerve repair and brain plasticity」 演者: Göran Lundborg 座長: 越智 光夫
18:00	評議員会 (32階 貴賓の廊)
18:30	
19:00	懇親会 (32階 ダイヤモンドルーム)
21:00	

8月19日(土)

8:00	モーニングセミナー 座長: 祖父江 元
9:00	一般演題 VII. 炎症性脱髄性多発根神経炎 座長: 松本 昌泰
9:45	
9:50	産業医学講座 「環境化学因子の自律神経機能に及ぼす影響とその考え方」 演者: 坂部 貢 座長: 八木橋操六
10:20	
10:25	一般演題 VIII. 手根管症候群 1 座長: 加藤 博之
11:10	一般演題 IX. 手根管症候群 2 座長: 堀内 行雄
11:46	
12:00	ランチョンセミナー 座長: 井上 聖壽
13:00	総 会
13:30	シンポジウム 「神経再生」 座長: 長野 昭 吉良 賢一
15:00	一般演題 X. 治療 1 座長: 葛原 茂樹
15:36	一般演題 XI. 治療 2 座長: 根本 孝一
16:21	
16:25	閉会の辞
20:30	

企画プログラム

リーガロイヤルホテル広島 4階 クリスタルホール

■特別講演

8月18日(金) 17:00~18:00

「Nerve repair and brain plasticity」

演者: Göran Lundborg (Department of Hand Surgery, Malmö University Hospital, Lund University, Sweden)

座長: 越智 克夫 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科展開医学科学専攻病態制御医学科学講座整形外科)

■モーニングセミナー

8月19日(土) 8:00~9:00

座長: 祖父江 元 (名古屋大学大学院医学系研究科神経内科)

1. 「末梢神経傷害誘発アロディニア発症におけるミクログリアATP受容体の機能」

演者: 井上 和秀 (九州大学大学院薬学研究院医療薬科学部門・薬効解析学分野)

2. 「痛みのバイオマーカーとしての神経ペプチド」

演者: 仲田 義博 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科・薬効解析科学)

■産業医学講座

8月19日(土) 9:50~10:20

「環境化学因子の自律神経機能に及ぼす影響とその考え方」

演者: 坂部 貞 (北里大学薬学部公衆衛生学・北里研究所病院臨床環境医学センター)

座長: 八木橋操六 (弘前大学医学部病理学第一講座)

■ランチョンセミナー

8月19日(土) 12:00~13:00

座長: 井上 聖啓 (東京慈恵会医科大学神経内科)

1. 「動脈硬化性末梢血管障害とニューロパチー」

演者: 額田 均 (Department of Medicine, University of Otago, Medical School, New Zealand)

2. 「Charcot-Marie-Tooth X病における遺伝子異常と病態」

演者: 川上 秀史 (広島大学原子核放射線医学研究所放射線分子疫学研究分野)

■シンポジウム

8月19日(土) 13:30~15:00

「神経再生」 座長: 長野 昭 (浜松医科大学整形外科)

吉良 潤一 (九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設神経内科)

1. 「末梢神経再生の鍵を握るシュワン細胞」

演者: 鳥越 甲順 (東海大学医学部解剖学)

2. 「末梢性ニューロパチー、軸索再生、血液神経関門」

演者: 神田 隆 (山口大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学領域神経内科学講座)

3. 「神経再生の特異性について」

演者: 牧 裕 (新潟市の外科研究所)

4. 「脱神経筋萎縮に対する治療戦略」

演者: 平田 仁 (名古屋大学大学院医学系研究科機能構築医学専攻運動・形態外科学講座手の外科学)

5. 「Rho kinase阻害薬による末梢神経軸索再生治療の試み」

演者: 平賀 陽之 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学)

一般演題プログラム

8月18日(金)

12:40~13:25

■一般演題 I. 基礎 1

(1演題あたり9分〈発表6分 質疑応答3分〉)

座長：佐古田 三郎 (大阪大学大学院医学系研究科・情報統合医学講座 (神経内科学))

01. 末梢神経生検におけるスカベンジャー受容体CD36に対する免疫組織染色の意義
新藤 昌樹 (大阪大神経内科)
02. 成熟ラット後根神経節ニューロンにおける毛様体神経栄養因子 (CNTF) の発現と機能
三五 一憲 (東京都神経科学総合研究所、神経発達・再生研究分野)
03. 実験的自己免疫性神経炎ラット末梢神経内のgamma-delta Tリンパ細胞の消長について
藤岡 俊樹 (東邦大医療センター大森病院神経内科)
04. INADマウスにおける末梢神経病変
芳川 浩男 (兵庫医大内科)
05. 末梢神経損傷に伴うリン酸化MBPの発現
斎藤 治和 (東京都立清瀬小児病院整形外科)

13:25~14:10

一般演題 II. 基礎 2

(1演題あたり9分〈発表6分 質疑応答3分〉)

座長：三浪 明男 (北海道大学大学院医学研究科機能再生医学 (整形外科学))

06. 神経因性疼痛モデルに対するHGF遺伝子治療の試み
—HVJ-リポソーム法による逆行性神経内遺伝子導入—
土原 豊一 (防衛医大整形外科)
07. キトサン・ナノファイバーを用いた神経再生促進型マトリックスの開発
—マトリックスの生体適合性と神経再生促進効果—
王 麗 (東京医科歯科大形成外科)
08. ヒト末梢血由来AC133陽性細胞移植による末梢神経再生
東嶋也寸無 (広島大整形外科)
09. 末梢神経細胞の突起伸展に対するIL-1 β の影響
轉法輪 光 (大阪大整形外科)
10. 末梢神経損傷後の炎症性細胞の遊走、形態変化の検討
大村 威夫 (浜松医大整形外科)

14:10~14:45

■一般演題 III. 症例 1

(1演題あたり7分〈発表5分 質疑応答2分〉)

座長：糸山 泰人 (東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科)

11. 血管異常により末梢神経障害を呈した4例
工藤 陽平 (西島病院脳神経外科)
12. Muscle cramp-fasciculation syndromeで発症した運動ニューロン疾患の2例
野山 真規 (東北大神経内科)
13. 封入体筋炎を伴ったニューロパチーの1例
小林 道雄 (国立病院機構あきた病院神経内科、秋田大第1内科)
14. 脱髄性末梢神経障害を呈し、腓腹神経の腫大を認めたサルコイドーシスの1例
清水 洋孝 (兵庫県立姫路循環器病センター神経内科)
15. 急性多発性神経根炎を合併した多発性筋炎の1例
権藤雄一郎 (金沢医大神経内科)

14:55~15:30

■一般演題 IV. 症例 2

(1演題あたり7分(発表5分 質疑応答2分))

座長：中川 正法(京都府立医科大学大学院医学研究科・医学部神経病態制御学)

16. MFN2遺伝子にR94Q変異が確認されたCMT2A2の一例
山口 達之(京都府立医大神経内科)
17. 呼吸不全をきたした移植片対宿主病多発性ニューロパチー
矢部 一郎(北海道大神経内科)
18. 悪性リンパ腫の経過中に急性軸索障害型多発神経炎を発症した1例
田中 優司(岐阜大神経内科・老年科)
19. ハンセン病患者の末梢神経障害
本田 裕之(長崎北病院神経内科)
20. 手関節部における刺創による尺骨神経障害
吉町 克郎(岩手医大整形外科)

15:30~16:06

■一般演題 V. 検査1

(1演題あたり9分(発表6分 質疑応答3分))

座長：池田 修一(信州大学大学院医学研究科・医学部内科学(神経内科、リウマチ・膠原病内科))

21. 糖尿病患者の平均大径有髄線維密度
長谷川 修(横浜市立大附属市民総合医療センター安全管理室)
22. FAP TTR Met30の臨床生理学および病理学的所見：若年発症例と高齢発症例との比較
小池 春樹(名古屋大神経内科)
23. Painful neuropathyの患者4名の皮膚生検
平井 利明(東京慈恵会医大神経内科)
24. 傍腫瘍性ニューロパチーの臨床病理学的特徴
沖 祐美子(名古屋大神経内科)

16:06~16:51

■一般演題 VI. 検査 2

(1演題あたり9分(発表6分 質疑応答3分))

座長：有村 公良(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学)

25. 胸郭出口症候群における上肢挙上による体性感覚誘発磁界の変化
中西 一義(広島大整形外科)
26. Miller Fisher Syndromeにおける経頭蓋磁気刺激を使用した中枢伝導時間について
小川 真司(日本医大附属千葉北総病院リハビリテーション科)
27. 進行期の糖尿病性ニューロパチーにはしばしば局所的伝導異常を伴う
長谷川 修(横浜市立大附属市民総合医療センター安全管理室)
28. 先天性顔面神経麻痺の臨床および電気生理学的所見
栢森 良二(帝京大リハビリテーション科)
29. cryptogenic sensory polyneuropathy (CSPN) に関する自律神経学的検討
大林 光念(大分大内科第三)

一般演題プログラム

8月19日(土)

9:00~9:45

■一般演題 VII. 炎症性脱髄性多発根神経炎 (1演題あたり9分<発表6分 質疑応答3分>)

座長：松本 昌泰 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医科学脳神経内科)

30. CIDPの特徴を合わせもつ遺伝性ニューロパチーにおける免疫応答亢進
宮本 晴一 (近畿大神経内科)
31. 凹足変形を有し慢性進行性経過をとった慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)の1例
喜多由寸志 (兵庫県立脳路障害器病センター神経内科)
32. Blink Reflexの経過から介在ニューロン障害が示唆されたギラン・バレー症候群の妊娠35週29歳例
村上 善勇 (東京慈恵会医科大学第三病院神経内科)
33. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) における末梢神経超音波検査の有用性
—電気生理的検査所見との比較より—
松岡 直輝 (広島大脳神経内科)
34. 急性脱髄性炎症性多発根神経炎の発症早期における電気生理検査
松本 昭久 (市立札幌病院神経内科)

10:25~11:10

■一般演題 VII. 手根管症候群 1 (1演題あたり9分<発表6分 質疑応答3分>)

座長：加藤 博之 (信州大学大学院医学研究科・医学部運動機能学 (整形外科学))

35. 手根管内圧の分布に基づいた手根管開放範囲の決定
池田 和夫 (金沢大整形外科)
36. 手根管症候群における短母指外転筋終末潜時と知覚神経伝導速度の関係について
金谷 貴子 (神戸労災病院整形外科)
37. マイクロスコーピーコイルを用いた手根管症候群のMRI—正中神経の形態変化について
西浦 康正 (筑波大整形外科)
38. 手根管症候群手術例における神経伝導速度の経時的変化
逸見聡一郎 (京都府立医大整形外科)
39. 健常者における正中神経の断面積に影響を与える因子の検討
中村 毅 (広島大脳神経内科)

11:10~11:46

■一般演題 IX. 手根管症候群 2 (1演題あたり9分<発表6分 質疑応答3分>)

座長：堀内 行雄 (川崎市立川崎病院整形外科)

40. 長期血液透析患者の手根管症候群における性別の影響
吉田 純 (筑波メディカルセンター病院整形外科)
41. サリドマイド胎芽病における手根管症候群
船森 良二 (帝京大リハビリテーション科)
42. 尺骨神経領域にしびれ感を有する手根管症候群の検討
豊泉 泰洋 (日本大附属駒河台病院整形外科)
43. 多発性絞扼性神経障害—肘部管症候群に合併した手根管症候群、後骨間神経症候群症例の検討
成澤 弘子 (新潟市の外科研究所)

リーガロイヤルホテル広島 4階 クリスタルホール

15:00~15:36

■一般演題 X. 治療 1

(1演題あたり9分(発表6分 質疑応答3分))

座長：葛原 茂樹(三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学)

44. シクロスポリンが有効であったMADSAMの1例
梶川 博之(三重大神経内科)
45. 定期的な免疫グロブリン静注療法が有効であったChurg-Strauss症候群の2例
吉田 典史(埼玉医大総合医療センター)
46. Charcot-Marie-Tooth病1Aに対するアスコルビン酸投与の試み
中川 正法(京都府立医大神経内科)
47. 橈骨神経麻痺に対する針治療の試み
佐々木哲也(都立墨東病院整形外科)

15:36~16:21

■一般演題 XI. 治療 2

(1演題あたり9分(発表6分 質疑応答3分))

座長：根本 孝一(防衛医科大学校整形外科)

48. 血管柄付き神経移植
中西 美紗(東京大形成外科)
49. 後腹膜腫瘍切除後に生じた大腿神経の長大な欠損に対する神経修復術
土原 豊一(防衛医大整形外科)
50. 上位型腕神経叢損傷に対する尺骨神経部分移行術(Oberlin法)の治療経験
杉岡 敏博(広島大整形外科)
51. 神経因性疼痛ならびにCRPS(Complex regional pain syndrome) に対する生体内再生治療
福田 有史(福田病院整形外科)
52. 足根管内で分岐する副内側踵骨枝(仮称)の解剖学的検討
橋 滋樹(西島病院脳・脊髄・心臓疾患センター)